

競技注意事項

1. 本大会は、2023年度日本陸上競技連盟規則により行う。

2. 招集について

	招集開始時間	招集完了時間
トラック	競技開始 30分前	競技開始 15分前
跳躍種目・砲丸投	競技開始 60分前	競技開始 40分前
円盤投・ハンマー投・やり投	競技開始 75分前	競技開始 60分前

① 招集所は、本競技場正面玄関横に設ける。

② リレーのオーダー用紙は各ラウンドの招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。

3. スパイクはオールウェザー用のピンを使用すること。長さは9mm以下とし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

4. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

一般・高校男子走高跳	練習 1m50・1m80	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m83	以降3cm～
一般・高校女子走高跳	練習 1m30・1m55	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以降3cm～
一般・高校男子棒高跳	練習 2m80・3m60・4m30	2m00	2m20	2m40	2m60	～(20cmずつ)		4m00	4m10	以降10cm～
一般・高校女子棒高跳	練習 1m60・2m20・3m00	1m60	1m80	2m00	2m20	～(20cmずつ)		2m80	2m90	以降10cm～

※練習及び開始の高さは気象状況等により変更することもある。

5. 高校男女走幅跳のトップ8による4～6回目の試技については、一般・マスターズの競技時間(15:00～)に併せて実施(高校男子Aピット、高校女子Bピット)する。当該競技者は現地招集(14:50)とし、助走練習については一般・マスターズの選手と一緒に行って良いものとする。

6. 三段跳の踏切板は砂場から以下のように設置する。

一般男子：12m、高校男子：11m、一般女子：10m、高校女子：9m

7. 跳躍競技者・投てき競技者で滑り止めを使用する選手は各自準備すること。

8. 持参のやりについては検査に合格したものは使用を認める。検査は当該競技の招集開始時刻30分前から招集開始時刻まで第4ゲート用器具庫前で行う。

9. 投てき種目出場者は、事前練習も含め審判員の指示に従い、事故のないよう留意すること。

10. 投てき練習場の使用については円盤投・ハンマー投の専用とする。

11. 10月29日は補助競技場の芝生内はやり投専用とする。

12. 選手変更をする場合、変更する選手は申込時に名前を登録している選手(他種目またはオープン男女60mにエントリーをしている)に限る。招集所で選手変更の用紙を受け取り、総務の確認を受けて、**1日目は14:30まで、2日目は8:30までに招集所に提出**すること。

13. 棄権をする選手は、必ず棄権届けを提出すること。

14. 競技会中に発生した負傷及び疾病については、主催者において応急処置は行うが、以後の責任は負わない。

15. 主催者は競技者と審判員対象の傷害保険に加入するが、補償はこの保険の範囲内とする。

16. [個人情報取り扱いについて]

福岡陸協で定める個人情報に関する規定を了承し、出場するものとする。また、撮影に関する規定に従って、競技を運営する。

17. その他

- ・28日(土)は中学校の駅伝が開催されるため、13:30までは第3駐車場のみ使用できる。10:00～13:30は競技場入口の門が閉まっているため、第1・2駐車場については13:30以降に使用すること。また各場所についても駅伝終了までは中学校関係者の使用を優先とする。なお、投てき練習場のみ中学駅伝で使用しない。

- ・競技場内各室は競技役員、本部役員以外の立ち入りは禁止とする。

- ・フィールド競技を行っている際は、その付近での連呼応援等、競技の進行に支障の出る応援は禁止する。

- ・選手の競技場所への入退場は、第1ゲート・第4ゲートからとする。トラック競技ではゴール後、速やかに第1ゲートシャッター外側へ退場をするようにし、ゴールエリアで休息等をしないこと。

- ・ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することはできない。(TR6.3.2)

- ・サイド及びバックスタンドは借用していないため立ち入りができない。ただし、フィールド競技の安全管理のために立ち入る場合(監督・コーチに限る)は本部に申し出て、許可を受けてから入ること。